品川区立みつぎ小学校　・創立103年の伝統校

＜みつぎ小学校の校章＞

みつぎ小学校の校章は、子どもたちの学びと成長を見守る大切なシンボルです。現在使用されている校章は、1961年2月25日に制定されました。旧校章から新デザインへと移りかわった背景には、みつぎ小学校ならではの、ある理由があったのをご存じですか？

リニューアルの理由

旧校章は、デザインの中央に品川の「品」という字が書かれており、当時存在していた「品川小学校」の校章と間違われることがあったため、1961年2月25日に今の校章に変更されました。

旧デザインの良さを残しつつ、より見やすくリニューアルされ、中央には堂々と学校めいである「みつぎ」の文字が配置されました。この校章は、みつぎ小学校の独自性と、子どもたちが「みつぎの子」としての誇りを持てるようにという願いが込められています。今日まで、多くの卒業生や在校生を見守り続けています。

＜みつぎ小学校の元気印！100周年記念キャラクター＞

みつぎ小学校創立100周年（2022年12月20日）を記念して作られました。当時のみつぎ小のスローガンであった「みつぎ小学校３つの“き”。やる気、ゆう気、げん気。」から誕生しました。

3つの“き”の起源

　1987年開校65周年に合わせて、みつぎの“き”をもとに「元気」「勇気」「やる気」の標語が当時できました。そして、2022年開校100周年を記念して「3つの“き”」のキャラクターが誕生しました！

このキャラクターは、みつぎ小の在校生からデザインを募集して作られました。代表12作品の中から全校投票によって選ばれたのが「やる木」、「ゆう木」、「げん木」です。当時6年生の児童がみつぎ小のスローガン「みつぎ小学校3つの“き”。やる気、ゆう気、げん気。」から着想を得てデザインしました。やる木、ゆう木、げん木のハチマキを締めて、みつぎ小のシンボルでもあるこいのぼりのシャツを着ています。当時、このキャラクターがプリントされたＴシャツが100周年の記念ひんとして子どもたちに配られ、記念イベントなどで着用されました。

創立100周年の記念のキャラクターとして誕生した彼らは、各記念イベントが終わった後も、学校便りや様々な場面で登場して活躍し続けています。今では学校関係者、児童、保護者にも馴染みのあるキャラクターとなりました。

＜みつぎ小学校を彩る伝統行事＞

空に舞う夢！「こいのぼり上げ」

みつぎ小学校の春の風物詩といえば、こいのぼり上げです。この伝統行事は、遡ること1983年に始まりました。当時の同窓会とPTAが協力し、西校舎の3階と体育館の間にロープを張り、28匹の鯉のぼりが校庭の空を泳いだのが始まりです。その数は年々増え続け、今ではなんと122匹もの鯉のぼりが、みつぎ小学校の青空を優雅に舞い、子どもたちの日々の成長を温かく見守っています。「子どもたちが、大きな夢を抱いて、すこやかに、伸び伸びと育つように」――。そんな教職員、保護者、そして父親倶楽部 (※)の熱い願いと協力のもと、みつぎ小学校の伝統行事として、今も大切に引き継がれています。

（※）父親倶楽部…みつぎ小学校に通う児童のおとうさんたちが有志で集まり、学校行事運営補助で活躍しています。

命を学ぶ体験「ますつかみ大会」

みつぎ小学校で2015年から始まった「ますつかみ大会」は、子どもたちの食育の一環として、毎年5月に開催される人気のイベントです。今年は、5月17日（土）に第11回目の大会が行われました！この大会では、プールに放流されたマスを子どもたちが素手で捕まえ、その場でさばき、炭火で焼いて味わうという、貴重な体験ができます。炭火でこうばしく焼き上げられた熱々のマスは、子どもたちに大好評です！「実際に生きた魚を見て、自分の手で捕まえて、さばいて、焼いて食べる」 この一連の流れを体験することで、子どもたちは命の循環や命の大切さを肌で感じ、深く学ぶことができます。今年はあいにくの雨の中での開催となりましたが、父親倶楽部や保護者ボランティアの皆さんの温かい協力のおかげで、今年も多くの子どもたちの笑顔を見ることができました。子どもたちの成長にとって、かけがえのない体験の場となっています。

品川区立みつぎ小学校

〒141-0033

西品川3の16の28

１年50人　２年55人　３年49人　４年68人　５年66人　６年62人　合計350人

（令和7年8月1日時点）

編集：宅島・おたに